

“キレイ”を導くメソッド

～根本からカラダを整えることで、美が生まれる～

[巻頭インタビュー]

カラダピオニー 院長

KOMAKI

立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花——。

美女の代名詞である芍薬の花、英名“ピオニー”。銀座に構えられた美容整体サロン

“カラダピオニー”は、体のバランスを整えることで内面からあふれる“本物の美”を生み出すという。

総院長は、現役の整体師でもあるKOMAKI先生。天職だという現在の職業との出会い、

そして仕事とお客様への思いを聞かせてもらった。

Text by 村上 杏葉 Photograph by 佐々木 信行

天職との出会い

—美容整体サロン「カラダピオニー」の総院長、そして現役の整体師として活躍なさっているKOMAKI先生ですが、早いうちから整体の仕事をしていましたのでしょうか？

いえ、もともととはごく普通のOLをしていました。整体や美容とは一切関係ありませんでした。お茶くみをしたり、コピーをとったりと、簡単な事務の仕事です。その日々のなかで、いつも心の中には「もっと人の役に立てる仕事がないか」という思いがありました。毎日悶々としながら5年間働いて、思い切った退職し、1年間アメリカに渡りました。特に目的がなかったわけではありませんが、自分は何ができるのか、模索するための1年間でした。

—1年間アメリカで過ごして、いかがでしたか？

うつ状態の友人が現地のカイロプラクティックによりすっかり回復していく様子を見たのが、整体との最初の出会いでした。その後帰国すると、日本は不況の時代に突入していて、経済は停滞し、それまでの上り調子から、すっかり守りの姿勢へと移行していました。自殺者の数も増えていて、さかんに「健康」が叫ばれるようになったの

もこの頃からです。

そのような社会の様子を目にして、これからは健康と予防がますます必要とされるだろうと感じました。このような社会のニーズを察知すると同時に、アメリカで目の当たりにしたカイロプラクティックの効果がいかに素晴らしいか、時代背景が変わっても働き続けることができ、そして人を幸せにできる仕事だ」と直感して、整体の道を歩み始めました。実はこれが、私の人生のスタート地点です。

—人生自体のスタート地点というところ、KOMAKI先生にとって、非常に劇的な出会いだったのですか？

ええ、整体の仕事始めて、それまで悶々としていた思いが一気に吹っ切れましたから。これまでの人生で積み重ねてきたものを全て失ってもいいと思えるくらい、この仕事へ傾倒しました。天職だと確信しました。

整体を学んで、実際に仕事として施術を始めてからも、ますますその確信は深まりました。お客様との人間関係の中で、「人の人生にかかわっている」という実感があるんです。役に立てている」と。この仕事を抱えている、後ろ向きな思いを抱いたことは一度もありません。だから、「やっぱり間違っていないかった」と思っています。

お客様の信用と信頼こそが 経営状態を良くする

健康になると、綺麗になれるという発見

「KOMAKI先生」の情熱と整体技術の結晶とも言えるサロン「カラダピオニー」をオープンするに至った経緯を教えてください。

「美」それ自体を目的にしたあらゆるサービスが、得てして「美」を手に入れる結果へと結びつかないのとは反対に、「健康」のための施術によって、結果として「美」が得られるというところに気づいたのが始まりでした。最初は体のコリや痛みを訴えて施術を受けていた女性

美を感じる瞬間は
その人の「笑顔」や
「明るさ」に触れたとき

のお客様が、回を重ねるにつれて、次第に生き生きとした美しさを増していくことに気が付いたんです。体全体のバランスを整え、内面から健康になることでこそ、美が生まれるのだと確信しました。表面的な美を追い求めていても、本当の美を手に入れることはなかなかできません。整体事業を展開するなかで、このような発見から、「美」という新しい切り口を据えることになり、2010年、銀座に「カラダピオニー」をオープンさせました。

人は綺麗になると、優しくなれます。内面が充実し、人とし

ての豊かさが増すことで、さらに魅力的になります。整体の施術を通じて、そのプロセスを見ることができるとはとても嬉しいですね。なんといっても私の仕事は、「お客様の喜ぶ顔が見たい」ということに尽きますから……

「カラダピオニー」へ来店されるお客様にはどのような方がいらっしゃいますか？
来店のかつかけのほとんどは、顧客同士の紹介です。主に20代前半から80代まで、幅広い年代のお客様がいらっしゃいます。ご夫婦やご家族で来店なさる方も多いですね。瘦せたい、O脚を直したいという方から、

メタボ対策や更年期障害による体の不調を訴える方まで、悩みは千差万別です。

「カラダピオニー」が力を入れているのはカウンスリングだということですが……

はい、カウンスリングには特に力を入れています。お客様の悩みが千差万別ならば、施術も千差万別でなければなりません。カウンスリングで引き出したそれぞれの悩みを解消するための施術プランを個別に組み立てていきます。まず骨格のバランスと関節の動きを確認して、不具合を生み出す異常を見つけ、そしてその異常を正常

化するための施術を行っていきます。

徹底したカウンセリングのもう一つの目的は、お客様自身に自分の体のことを理解してもらうことでもあります。自宅で行えるストレッチやマッサージなどもお伝えすることで、まず改善への道が開けます。まずは自分の体に興味を持つことが、美の実現への入り口でもあるんです。

「サロン」での施術だけでなく、日々の生活の中でも美に近づいているという実感を得ることができるとは嬉しいですね。カラダピオニーの成功の秘訣はこの辺りにありそうです。

「お客様の悩みをスルーしないこと」を大事にしているんです。自分では解決できない問題があれば、立ち止まって色んな人

の技術や知識を借りてでも、お客様の悩みを解消することに努めます。単価を上げて売り上げを伸ばそうなんて気はさらさらありません。ありがたいことにサロンの経営が軌道に乗った現在も、お客様の信用と信頼こそが経営状態を良くするのだと信じています。

もう一つ大事にしていることは、現場から離れないこと。現場の感覚、お客様の心理をリアルに感じていたい。全体の仕事を始めて12年間、これまで現場に立たなかった期間はありません。今は週に1回ですが、その1日で10人以上施術しています。

現場に立つことで、お客様だけでなく、スタッフとのコミュニケーションも密に取ることができます。スタッフへの実地指導

「意識」が 「美」を生み出す

「今後の目標をお願いします。」

カラダピオニーを、地域で一番の信頼を勝ち取れる店にしたいと思っています。利益を得るために出店するのではなく、必要とされ、望まれたうえで出店していきたい。目標は海外進出。銀座で培ったこのスタイルで、国際展開を計画しています。

個人的な目標は、海外旅行ですね。半年くらいかけて、世界中をのんびり周りた。新しいものを発見したり、吸収したりすることがとても好きなんです。

「KOMAKI先生にとって「美」とは？」

人を見て、私が美を感じる瞬間はその人の「笑顔」や「明るさ」に触れたときです。美は表面的なものではないからこそ、内面の具合がダイレクトに影響するんですね。美には「意識」が何より大事です。周囲の目に

映る自分を客観的に捉えられれば、自然と美への意識が高まります。

笑顔と明るさを体現するには、内面にその状態を作らなければなりません。ですからネガティブよりポジティブであることは大切なことです。

最後に、読者の方へのメッセージをお願いします。

アメリカで生活していたとき、あちらの人が感情や意志を積極的に表現し行動する様子を見て、「こんなに自分を表現してもいいんだ」と思った経験があります。私にとって全体の仕事も、「人の役に立ちたい」という気持ちに基づいています。本来、この気持ちは全ての人に共通だと思うんです。それを実際に口に出したり行動したりするかの違いですね。

整体を通じて「美」を導くことで、日本の女性の活躍を応援したいという気持ちもあります。女性が社会で生き生きと活躍することで、日本の社会にとってプラスの要素が増えると思っています。女性ならではのバイタリティや、与える印象の良さなどを社会に活かさない手はありません。女性がもっと積極的に社会と世界にかかわっていくことお手伝いの一端を担うことができれば、非常に嬉しいですね。



KARADA PIONEER (カラダピオニー)

東京都中央区銀座5-3-13 GINZA SS 85ビル 13F
営業時間 平日 11:00~22:00 / 土日祝 10:00~20:00
TEL.03-6228-5185
・東京メトロ 銀座線・日比谷線・丸の内線
「銀座駅」B9出口より徒歩2分
・JR線 JR有楽町線 銀座口より徒歩6分



経営に関わる傍ら、今も一日10人以上を施術している。以前は一日に25人もの施術を行っていたこともあるという。

KOMAKI (小牧 めぐみ)

1972年、横浜生まれ。整体師、ボディデザイナー。OL経験後、1年間のアメリカ生活をを経て、整体の道へ。「人を信じ、信頼される」を座右の銘に、徹底した現場主義とお客様との信頼関係を大事にした経営と施術を行う。2010年、銀座に「本物の美」を実現するサロン「カラダピオニー」をオープン。芸能人・モデルも通うカリスマサロンへと成長させた。著書に「美しい小顔になれる「顔歪骨矯正」30秒メソッド」(三笠書房)がある。